



議会議長
◎復興加速化・安全安心な県づくり特別委員会 委員
◎商労文教部会委員
自由民主党福島県支部連合会顧問

福島県議会議員
満山 喜一

ご挨拶

謹んで年頭の御祝福を申し上げます。皆様方におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えの事とお慶び申し上げます。

東日本大震災・福島第一原子力発電所事故から11回目の正月を迎えました。令和3年度より「第2期復興・創生期間」が始まり地震・津波被災地域では、住まいの再建などが概ね完了し、総仕上げの段階にあります。今後は、国と被災地方公共団体が協力し、心のケア等の被災者支援、被災者の移転に伴うコミュニティ形成等の支援、県外避難者への支援、子どもに対する支援、被災者の日常的な見守り・相談支援等の事業に全力を挙げて取り組むことにより、復興事業がその役割を全うすることを目指すとともに、地方創生の施策等を活用することにより、コミュニティを再生し、持続可能で活力ある地域社会を創り上げる取り組みを進めてまいります。

原子力災害被災地域は、本格的な復興・再生に向けて、(1)帰還・移住の促進(2)農林水産業や観光業等における風評の払拭と経営再開の加速化(3)浜通り地域に新たな産業基盤の構築を目指す福島イノベーション・コースト構想の推進(4)創造的復興の中核拠点としての国際教育研究拠点の新設などを図ります。

震災の教訓の伝承にも力を入れ、地元自治体と連携しながら、岩手県、宮城県、福島県に国営追悼・祈念施設を順次設置しています。復興庁も、今後の大規模災害に対する防災力の向上に活かすため、震災復興の教訓・ノウハウ集を、同庁のウェブサイトに掲載するなど広く周知していきます。

復興・再生が本格的に始まっていますが、今後も中長期的な対応が必要であり、引き続き国が前面に立ち取り組み、こうした状況を踏まえ、復興庁の設置期間を10年間延長し、令和3年度分と令和7年度分の財源として1・6兆円程度を確保しています。

新型コロナウイルス感染症について、国内において、10月に入ってから新規感染者数は減少傾向となり、新規感染者が確認されない県も多く見受けられるなど、落ち着いた状況が年末の20日くらいまで続きましたが、12月20日以降徐々に新規感染者が増え、年明けの3日以降は各地で感染が急拡大し、「第6波」の様相が顕著となってきました。福島県においても、10月に入ってから1日当たりの新規感染者数は、1桁台が続き新規感染者が確認されない日も見受けられるようになり、11月と12月も新規感染者数が落ち着いていきましたが、年明けの5日県発表の新規感染者数は、ス感染者数が2桁となり、年末からの人流の増加などが感染につながっていると考えられ、感染拡大の傾向がより鮮明となってきました。新型コロナウイルスの新しい変異株である「オミクロン株」は2021年11月11日にポツワナで採取された検体から初めて検出されました。

WHO(世界保健機関)は、新型コロナウイルスのオミクロン株について「市中感染が起きている地域では、デルタ株を上回るペースで感染が拡大するとみられる」という見通しを示しました。一方、オミクロン株の重症化リスクについては、デルタ株よりも低い可能性があるとされたものの、判断には追加のデータが必要だと慎重な姿勢を示しています。今後、デルタ株や新たな変異ウイルスのオミクロン株の感染拡大を予防する対策として、従来と同様に基本的な感染対策の徹底が重要です。改めて「3密」を避ける行動、外出や会話をする際には、マスクを正しく着用し、こまめな手洗い、手指の消毒の徹底を、お願いいたします。

私も県議会議員として「復興・創生」とコロナ対策を着実に、しっかりと全力で取り組んでまいりますので、何卒皆様方のあたたかい、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

12月県議会 定例会 報告

会期 12月7日(火)～12月21日(火)

希望と笑顔に満ちあふれた「新生ふくしま」 農林水産業や観光業等における風評の払拭

令和3年12月定例会は、12月7日(火)から12月21日(火)までの15日間の日程で開催され、令和3年度一般会計補正予算や、当面する県政の重要な案件について審議し知事提出議案や意見書を可決いたしました。

令和3年度 12月補正予算について

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症の対策や、震災・原子力災害からの復興に向けた取り組みなど、緊急に措置すべき経費について計上しました。

| | | | |
|-----------------------------|----------------|---------------------------------|---------------|
| その主な内容といたしましては、 | (単位：千円) | | (単位：千円) |
| ■新型コロナウイルス感染症対策として | 計 17,164,040 円 | ■原油価格高騰への対応として | 計 228,940 円 |
| ※入院病床の確保(今後の感染拡大に備えて) | 7,281,572 円 | ※灯油購入費用を支援する市町村に対する補助金 | 154,250 円 |
| ※宿泊療養施設の確保・運営 | 809,977 円 | ※園芸農家・漁業者等への緊急支援事業 | 74,690 円 |
| ※ワクチン・検査パッケージ活用等体制整備事業 | 3,500,000 円 | ■震災・原子力災害からの復興 | 計 6,836,321 円 |
| ※ふくしま飲食店応援事業(地域経済の活性化を図るため) | 261,848 円 | ※原子力災害等復興基金積立(避難地域の医療体制の再構築のため) | 5,367,049 円 |
| ※福島米生産意欲向上支援緊急対策事業 | 347,040 円 | ※復興基盤総合整備事業(農業・農村の復興を推進するため) | 167,890 円 |
| ※観光周遊宿泊支援対策事業「県民割プラス」 | 1,545,800 円 | | |

以上により、一般会計における補正予算の総額 **537億8,600万円**



10/20 第49回衆議院選挙街頭演説・河野太郎 前行政改革担当・内閣府特命担当大臣を迎えて（メガステージ白河）



10/22 第49回衆議院選挙街頭演説 西村康稔 前経済再生・コロナ担当大臣を迎えて（西郷村商工会館）



第49回衆議院選挙街頭演説



11/7 第4回ふくしま植樹祭 -ABMORI-



11/13 全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会



11/16 白河保護司会 県庁視察



11/21 農産物即売会（JA夢みなみ白河）



第4回ふくしま植樹祭（双葉郡浪江町請戸地内）



12/1 林業アカデミーふくしま研修施設建設工事（安全祈願祭神事式）



12/2 風景写真クラブ白河写真展（マイタウン白河）



12/5 令和3年度 白河リトルリーグ協会総会及び 卒団式並びに入団式（サンフレッシュ白河）



ふくしま教育ニュース

2021年11月 第57号 編集・発行 福島県教育委員会

一人一人のがんばりを認める「ふくしま学力調査」

1 「ふくしま学力調査」の特長

特長 その1

他のお子さんや県の平均正答率との比較ではなく、**現在の自分の学力のレベルを知り、過去の自分と比較して「学力の伸び」を実感**することができます。一人一人のがんばりを認める調査です。



特長 その2

学力以外の力（根気がある、やるべきことをきちんとやる、自分に自信がある等）が、どれだけ身に付いているのかが見えます。これらの力は、学力との関係が強いといわれています。

特長 その3

学校や教育委員会では **特長 その1**、**特長 その2** の調査結果を分析することで、学力向上に向けた **授業改善** や **子どもたち一人一人に応じた指導・支援の充実** を図ることができます。また、学力を伸ばしている効果的な取り組みを明らかにし、その取り組みを広げていきます。

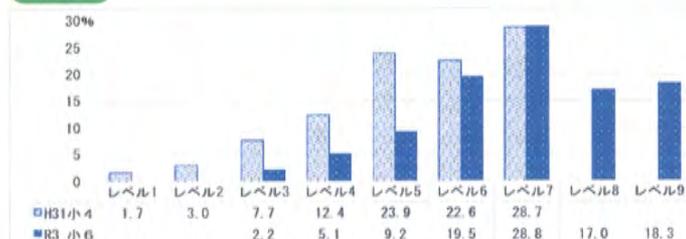


2 令和3年度「ふくしま学力調査」の結果から見たふくしまの子どもたちの頑張り

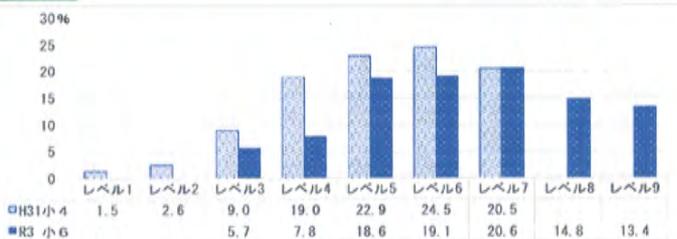
◎平成31年度調査と比較することで、同じ学年集団が学力を伸ばしていることが分かります。

平成31年度小学4年生→令和3年度小学6年生 学力のレベルの分布

国語



算数



◆ 本調査の「学力」は、何問正解できるかだけでなく、問題ごとに設定された難易度をもとに、「どのくらい難しい問題に正解できるか」を示すものです。学力のレベルは12段階ありますが、測定は各学年7レベルの間で行います。